

ら く が き

楽学喜

令和6年10月発行 第100号



放送大学
福井学習センター



「楽学喜」第100号に際して

福井学習センター所長 小野田 信春

このたび、福井学習センターの機関誌「楽学喜」が第100号を迎えることになりました。

福井学習センターが設置されたのは1997年6月30日で、約半年後の1998年1月15日に機関誌第1号が発刊されています。ただ、そのときはまだ名称がなく、「機関誌」という仮題のもとでの発行でした。そして名称の募集が行われ、多数の応募の中から「楽学喜」に決定し、1998年5月発行の第2号から使われています。

楽しく学んで、それを喜びとする。これは学びの理想で、放送大学の学歌にも、1番に「生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ」とあり、2番に「生きるとは知ること 知ることはよろこび」とあります。「楽学喜」は放送大学での学びのあるべき姿を見事に表現したすばらしい名称だと思います。

「楽学喜」は現在、年4回発行されています。学習に関する情報、学習センターの行事、事務室・図書室からのお知らせ等を掲載し、長年に渡ってセンターと学生を結ぶ重要な役割を果たしています。創刊から10年ほどは白黒でしたが、2010年度以降は全面カラーになっています。

「楽学喜」の歴史は、27年に及ぶ福井学習センターの歴史でもあります。センターは最初、福井市中央公園北側にあった旧県民会館の6階で開所しました。現在のAOSSA7階に移転したのは、2007年4月です。初年度の学生数は303名でした。その後は増減し、ピーク時に750名を超えたこともありますが、現在の在籍者数は406名です。これまでに累計で751名の学部卒業者と31名の修士課程修了者及び1名の博士後期課程修了者を輩出しています。

福井学習センターが今日に至ることができたのは、歴代所長や職員の方々、客員教員の先生方、面接授業を担当くださった先生方、そして何より在籍していただいた多くの学生の皆さんの支えがあってのことです。「楽学喜」が100号に達した節目に、そのすべての皆様にあらためて感謝申し上げるとともに、福井学習センターがこれからも発展し続けることを心から願います。



第1号



第2号

目次

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| P.1..... 巻頭言 | P.9..... 面接授業報告レポート |
| P.2~3..... 学習会・ゼミナールのお知らせ | P.10..... 学生の活動紹介 |
| P.4..... 第2学期学習スケジュール | P.11..... 編集サークル記事 |
| P.5..... システム WAKABA について | P.12..... 図書・視聴学習室からのお知らせ |
| P.6~8..... 事務室からのお知らせ | P.13..... 10~12月のスケジュール |



「戦後 80 年」と福井県

木村 美幸

福井学習センター客員教員

福井工業高等専門学校 助教

来年、2025 年はアジア・太平洋戦争の敗戦から 80 年、昭和 100 年にあたる。総務省統計局が毎年出している統計によると、2023 年段階においては 80 歳以上の日本人の人口は 1259 万人、うち戦争時 7 歳以上であった 85 歳以上は 671 万人である。戦争の記憶がある世代は刻一刻と減っていつている。

私がこうした世代交代を実感したのは、2 年前の NHK スペシャルだ。私が子供の頃（今から約 20 年前）は、実際に戦場に行った方がインタビューに答えていたように思うが、その番組では当時子供だった人が母親の戦争協力について回想している映像が使われた。実際に戦場に行った世代は一番若い 14 歳の志願兵だとしても、今年で 93 歳であり、そういった方に直接話を聞くのは難しくなっている。こうした時代を迎える中で、戦争の記憶といかに向き合っていくのか、いかに伝えていくのかが課題になっている。

では、こうした動きに福井県はどのように対応しているのだろうか。以下にいくつか例示したい。まず、福井県平和祈念館（鯖江市）の動向である。2021 年に館長の交代があって以降、精力的に資料内容の調査が行われ、現在資料リストの作成が終わっている。祈念館の資料整理は、地元の学芸員や私のような研究者だけでなく、地域の方や新聞記者の方もかかわって行われており、まさしく「地域で」集められて、整理された資料である。この資料の特徴は、軍服や飯盒といった「もの資料」だけでなく、従軍記録などの紙資料が多いことである。これは地域で資料を引き受けてこられた遺族会の方々の尽力のおかげである。この資料を使えば、福井県出身者がどのような戦場に行ったかがより詳細に明らかにできるだろう。今後はこの資料をどのように活用し、戦争を知らない世代にも分かりやすく伝えていくかが課題となっている。

もう一つが、宗教関係の動きである。真宗大谷派では、2025 年 7 月 19 日（土）の福井空襲 80 年の日に、追悼の法要を新しく行う方向で計画中だという。こういった催しは東京では関東大震災と東京大空襲の法要として毎年行われており、こういった取り組みが福井県でも継続的に行われることを期待したい。

「戦後 80 年」と聞くと、大きな隔たりを感じるかもしれない。しかし、今からでもできること、むしろ今だからこそ伝えられることもたくさんあるはずである。戦争を経験した当人が話せなかったこと、話したくなかったことを、戦争を経験していなかった世代が伝えていける可能性はある。今後こういった動きが広がっていき、戦争の記憶が語りつがれていくことを願い、私も微力ながら貢献したいと考えている。

■ 2024年度第2学期第1期 学習会・ゼミナールのお知らせ

福井学習センターの所長及び客員教員の先生方の専門分野についてテーマを設け、『学習会』『ゼミナール』を開講しています。

【第2学期 第1期(10月～12月)に4回】

【第2学期 第2期(2月～3月)に3回】

※(実施回数等は都合により変更になることがあります。)

福井学習センターの学生を基本的に対象としますが、他の学習センター学生も可とします。

受講料は無料で、単位は修得できません。皆様のご参加をお待ちしています。

※福井学習センター Web ページからも閲覧いただけます。



学習会

1テーマ全回出席できる方。『学習会』は第2学期の第1期4回、第2期3回の計7回で構成されており(一部例外あり)、内容が連続するため、全て出席できる方が望ましいですが、単発での希望者も受け付けています。

ゼミナール

卒業研究及び大学院進学を考えている学生を対象に、先生方の専門分野の論文等を読み・解説し、更に事例検討会・実技等を通して各自の目的に繋がる『ゼミナール』を行います。1テーマ全回出席できる方。『ゼミナール』は原則として15回(1年)で構成されています。15回全て出席できる方が望ましいですが、半年または3カ月だけの希望者も受け付けています。

申込方法

電話(0776-22-6361)または当センター事務室で直接お申込みください。事前に申し込みをされていない方、または受講者多数の場合は、受講をお断りすることがありますのでお早めにお申し込みください。

定員

学習会 ➡ 各講座 10名程度 ゼミナール ➡ 各講座 7名程度

申込期間

第1期(10月～12月)の申込期間となります。各講座記載の申込締切日までに申してください。

学習会

【大学生の基礎英語】

申込締切日 10/23(水)



浅井 純子 先生

専門:北米研究・英語教育

10/26(土)、11/2(土)、11/9(土)、11/16(土) 【10:00～12:00】

第1学期に引き続き、英語の「基礎の基礎」を復習します。
第2学期第1期では、
助動詞、名詞・冠詞、代名詞、前置詞、形容詞、副詞、比較の用法を学習する予定です。
またスピーキングのアクティビティも数多く用意していますので、気軽に参加してください。

【準備物】 もしお手元があれば英和・和英辞典(電子辞書可)をお持ちください

English!

学習会

【心と行動の働きと健康を考える(1)】

申込締切日 11/6(水)



安倍 博 先生

専門:行動科学・時間生物学

11/ 9(土) 【13:00～15:00】

11/30(土) 【10:00～12:00】

12/14(土) 【10:00～12:00】

行動科学は、心の変化を行動として捉え、より科学的にその働きやメカニズムを明らかにすることで、私たちの生活の向上に役立てる科学的心理学の一つです。この学習会では、参加者中心の勉強会として、学習や動機、ストレス、睡眠など、私たちの日常のさまざまな行動機能や行動変容に関するトピックを取り上げて、参加者の皆さん自身が、それぞれ毎回、文献などで調べてプレゼンし、ディスカッションすることで理解を深めます。

学習会

【近現代史を学び直す】

申込締切日 11/7(木)



木村 美幸 先生
専門:日本近現代史

11/10(日) 【10:00~12:00】
【13:00~15:00】 12/21(土) 【10:00~12:00】
【13:00~15:00】

近現代史の歴史は今の国際社会や日本を理解する上でも重要です。本学習会では、日本近現代史を学び直すことを目標に、特に講師の専門である軍隊・戦争に関する歴史に重点をおいて学び直していきたいと思ひます。基本は高校レベルの話を進めた上で、講師の専門である戦争・軍隊については発展的な内容も扱いたいと思ひます。また、適宜質問に答えていく方式にしたいと思ひます。

学習会

【恐竜寺子屋】

申込締切日 10/12(土)



柴田 正輝 先生
専門:古生物学

10/16(水)、11/13(水)、11/27(水)、12/18(水) 【16:00~17:30】

恐竜王国福井。駅周辺には数多くの恐竜が出没しています。ですが、その姿や形は知っていても、知らないことが多いのが恐竜。今さら聞けない恐竜の”いろは”を学習しましょう。参加者には、ご自身が持っている”今さら聞けない恐竜についての疑問”をみんなで共有し、それを調べていただきます。そこから恐竜の知識を深め、探求をおこないましょう。



ゼミナール

【微分方程式とその応用】

申込締切日 10/30(水)



小野田 信春 先生
専門:可換代数学

11/2(土)、12/7(土)、12/14(土) 【14:00~16:00】

微分方程式は、自然科学のみならず、経済学等をはじめ社会科学でも重要な役割を果たしています。このゼミナールでは、1階微分方程式と2階微分方程式を中心に、代表的な微分方程式とその解法について説明します。

さらに、その応用として、ケプラーの法則の数学的な証明についても解説します。



ゼミナール

【哲学をつくる】

申込締切日 10/23(水)

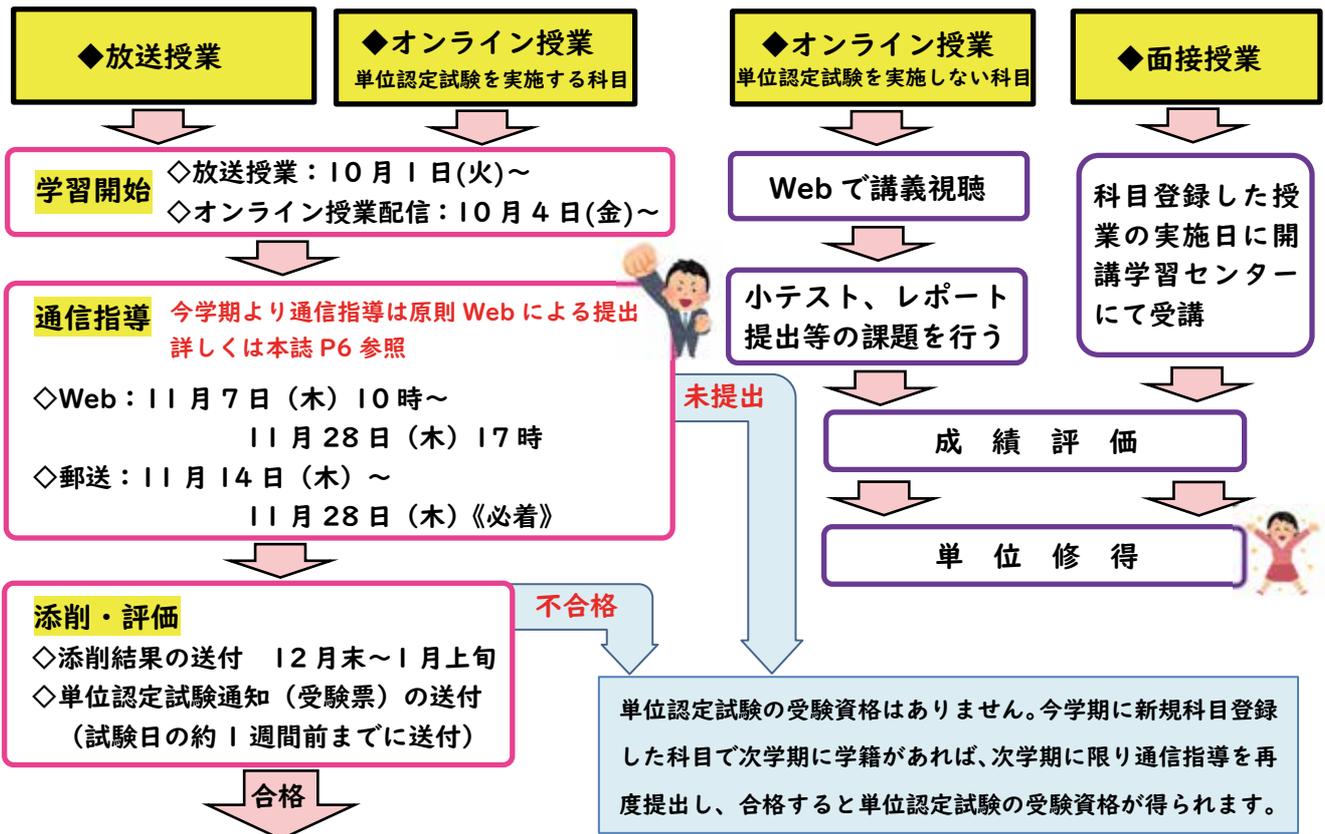


白川 晋太郎 先生
専門:哲学

10/26(土)、11/16(土)、12/7(土)、12/21(土) 【9:30~11:30】

1学期に引き続き、哲学をつくる作業を進めます。2学期の終わりにまでに各自の哲学を何らかの作品として一つの形にすることを旨とします(論文、エッセイ、物語、マニフェストなど形式は自由)。毎回2名程度の担当者が考察を文章としてまとめた上で発表し、議論を通して批判的吟味や着想を得るといった流れはこれまでと同じです。説得力のある議論構築の仕方や、効果的な言葉の使い方など、表現方法に関する話を増やす予定です。「完全な作品」をつくと考えると少しプレッシャーになりますので、「仮の作品」をつくるぐらいの意識でいきましょう。

第2学期学習スケジュール



単位認定試験

【試験日程】

Web 試験(択一式科目) : 2025年1月19日(日)9:00～1月27日(月)17:00

Web 試験(記述式・併用式科目) : 2025年1月19日(日)9:00～1月23日(木)24:00

郵送試験(すべての出題形式) : 2025年1月19日(日)9:00～1月23日(木)《必着》

※郵送試験の科目は「行政学講説('24)」「正多面体と素数('21)」「日本美術史の近代とその外部('18)」「量子化学('19)」の4科目です。

◆試験はシステム WAKABA へログインして受験します。

◆1科目 50分の時間制限があります(試験期間中いつでも受験可、1回のみ受験可能)

◆一度解答を開始すると、50分のカウントダウンが進み始めます。受験は1回のみ。

カウントダウンを止めることはできません。集中できる環境を整えてから受験しましょう。

◆解答の途中で50分経過した場合、その途中までの解答が自動的に提出されます。

◆なお、個人の操作ミスや機器トラブル・通信環境の不備により受験に支障が生じた場合について、救済措置はいたしかねますので、操作確認・動作確認をした上で、操作や受験環境に不安がある場合は、学習センターで受験することをおすすめいたします。



自宅等にインターネット環境がない方やパソコン操作が困難な方は、学習センターで受験することができます。

ご希望の方は学生生活の葉 様式15の「学習センター受験申請書」を記入し郵送にて申請してください。

申請期間：10月1日(火)～11月24日(日)《必着》

学習センターで受験する場合は、決められた試験日・時限に学習センターのパソコンを使用して受験します。

■ システム WAKABA (教務情報システム) について

放送大学ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/>

- ①画面上部「在學生(WAKABA)」をクリック
- ②在學生の方へのページの「システム WAKABA (教務情報システム)」をクリック
- ③ログイン画面からID、パスワードにてログイン



◆ログインできない方は下記へご連絡ください。本人確認後、パスワードを初期化いたします。

◆学生サポートセンター ☎ 043-276-5111 又は ◆福井学習センター ☎ 0776-22-6361

★初期化後は速やかにパスワードの変更をお願いします。(再びロックがかかります。)



◆システム WAKABA トップ画面

学内リンク

- 放送授業のインターネット配信
- 印刷教材試し読み
- Web通信指導
- Web単位認定試験
- 過去の単位認定試験問題・解答等
- オンライン授業
- ライブWeb授業
- 面接授業のページ
- 自己学習サイト
- 修士論文閲覧 等

教務情報

- 学生カルテ
- 学籍情報
- 住所・連絡先情報
- 履修情報
- 単位修得情報等
- 変更・異動手続
- 住所変更, 受験センター変更, 休学等
- 履修成績照会
- 成績状況の確認
- 出願・科目登録申請
- 科目登録申請
- 継続入学申請等



キャンパスライフ

- ・学内連絡
- ・スケジュール
- ・学内関連
- 学習案内, 学生生活, 各種届出・申請様式等

授業サポート

- ・授業関連
- 授業連絡, 授業リンク, 質問箱, 資料室(卒業研究資料)等
- ・アンケート
- ・談話室

キャンパスメールをご確認ください

放送大学学生全員にメールアドレスが付与されています。本部や学習センターからの重要なお知らせ等を随時送信していますので定期的に確認してください。

メールアドレス

学生番号@campus.ouj.ac.jp

(学生番号はハイフン除く)

■ 事務局（放送大学本部）からのお知らせ

◆通信指導の問題冊子の送付について

今学期より変更があります

2024年2学期より通信指導は原則 Web 提出（郵送提出科目を除く）となります。

印刷教材と一緒に発送していましたが問題冊子の送付はありません。

自宅にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難な事情により単位認定試験の受験場所を学習センターにされる場合に限り問題冊子を送付します。

■ 10月1日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている方 → 10月下旬～11月上旬発送

■ 単位認定試験の受験場所を学習センターに変更希望の方 →

「単位認定試験受験場所変更願」を10月31日（必着）までに提出した方には 11月上旬送付

<郵送提出科目>

『市民自治の知識と実践（'21）』『日本美術史の近代とその外部（'18）』『日本政治思想史（'21）』『空間と政治（'22）』『文学批評への招待（'18）』『現実と向き合う政治理論（'22）』 → 10月下旬～11月上旬発送
詳しくは学生生活の葉 P64～P68 をご参照ください。

◆面接授業追加登録方法の変更について

今学期より変更があります

すべての学習センターで Web からの面接授業科目の追加登録の事前申請が可能となりました。

10月11日（金）15時 空席発表

空席発表～10月16日（水）13時 事前申請受付

10月17日（木） 当選科目の連絡
（キャンパスメールへ抽選結果をお知らせします）

10月24日（木）まで 授業料納入

10月17日（木）15時以降 先着申請受付（事前申請で満席とならなかった科目）

詳しくは面接授業開設科目一覧 P9～P13、面接授業時間割表 東海・北陸ブロック版 P5～P9 をご参照ください。

事前申請方法には A・B の 2 通りの申請方法があります。

A : Google フォームから申請

希望する面接授業を開講する学習センターのウェブサイトの「お知らせ」から、Google フォームの URL をクリックして、必要な項目を入力する。

B : 学習センターにて申請

希望する面接授業を開講する学習センターへ追加登録申請書を提出する。

※申請方法は学習センターによって異なります。

詳しくは開講する学習センターの Web サイトまたは電話等によりご確認ください。

◆【BYOD】の面接授業について

面接授業において、ご自身のパソコン等を持参して受講いただく方式（BYOD: Bring Your Own Device）の面接授業がございます。面接授業各科目のシラバス（授業概要）をご確認いただき受講科目が BYOD 方式の科目かどうかをご確認ください。

なお、ご自身のパソコン等を持参しインターネットを使用する場合は、福井学習センター内の Wi-Fi を利用することができます。詳しくは、学生生活の葉 P112「無線 LAN (Wi-Fi) 利用について」を参照の上、事前の手続きをお願いいたします。



システム WAKABA にログインし、【学内リンク】⇒【放送大学自己学習サイト】⇒【情報セキュリティ研修（学生用）】を受講し、「小テスト」に合格すると発行される「修了証」を取得。

学習センターへ「無線 LAN 利用申請書」と「修了証」を提示すると「無線 LAN 利用許可書」（認証用 ID・パスワード記載）が発行されます。

■ 事務室からのお知らせ

◆ 学生証について

入学許可書（ハガキ）持参のうえ、学習センター窓口にて **学生証** を受け取りましょう！

【有効期限】全科履修生:2年間 選科履修生:1年間 科目履修生:半年間

- 有効期限が切れた学生証は無効です。学籍が継続する場合（休学中を含む）や再入学された場合は、現在の学生証を持参し新しい学生証を原則窓口で受領してください。郵送をご希望の方は事務室までご相談ください。
- 顔写真の登録手続きを行っていない方は、「写真票（学生生活の葉：巻末様式Ⅱ）」を本部学生課に郵送するか、システム WAKABA から顔写真の登録をお願いします。システム WAKABA への顔写真反映後に学生証の発行が可能となります。



有効期限を必ず確認してください

◆ 各種証明書の発行について

- 学習センター窓口と郵送で、各種証明書の交付を行っています。窓口で「諸証明書交付願」に必要事項を記入のうえ、発行手数料（1通につき200円）と「学生証」を提示して申請してください。（お釣りのないようお願いします。）
- 証明書の種類によっては発行に時間がかかることがあります。余裕をもって申請してください。
- 郵送申請の手続きは下記の3点をご用意ください。
 - ①諸証明書交付願（必要事項の記載漏れがあると証明書が発行できないため、必ず確認願います。）
★学生生活の葉巻末の様式またはウェブサイトからダウンロードして記入してください。
 - ②発行手数料（「郵便定額小為替」または「現金（現金書留）」）
 - ③返信用封筒（切手貼付・宛名明記） **余った切手はお返しします。不足がないようお願いします。**
【切手の目安】 証明書の入った「専用封筒」*に下記切手を貼付ください。
・1~3通⇒ 長3号 110円切手 ・4通以上⇒ 角型3号 180円切手
***各証明書1通ずつ「専用封筒」に入れます。証明書の枚数により切手料金が変わる場合があります。**

◆ 学割証（学生旅客運賃割引証）の発行について

【対象学生】 全科履修生、修士全コース、博士全コース

【学割証種類】 ◆JR学生割引普通乗車券（片道区間が100kmを超える場合）

◆JR通学用割引普通回数乗車券

【申請方法】 所属学習センターにおいて発行

窓口：学割証等発行願を提出（学生証を提示）

郵送：学割証等発行願、返信用封筒（宛名を明記、110円切手貼付）を郵送

【認められる利用目的】

- 面接授業を受講する場合
 - 放送教材等の再視聴及び図書室を利用する場合（原則所属学習センターに限る）
 - オリエンテーション、学習相談及びゼミへの出席
 - 大学が主催する学校行事への参加
 - 卒業研究や研究指導のため指導教員の指示により移動する場合（確認ができる書類が必要です）
- ★ 個人的用務などの上記以外の目的の場合は、利用が認められませんのでご注意ください ★

■ 事務室からのお知らせ

◆全科履修生の授業形態にかかわる卒業要件について

全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）が2024年度第1学期から変わりました。新しい卒業要件では「授業形態に係る卒業要件」に占める「授業形態を問わない単位数」が30単位数に増えました。2023年度第2学期以前から全科履修生に在籍中の方も、カリキュラム移行の手続きを行うことで、新卒業要件の適用を受けることができます。

授業形態	修得すべき最低単位数（計124単位）	
		授業形態を問わない単位数
放送授業	74単位 (従来：94単位)	30単位 (従来：10単位)
面接授業または オンライン授業	20単位	

【カリキュラムの移行手続きについて】

- 引き続き従来の卒業要件の適用を希望する場合は手続き不要です。
- 2024年度第1学期以降に全科履修生として入学された方（再入学・継続入学を含む）は、自動的に新卒業要件が適用となるため、カリキュラム移行手続きは不要です。
- 2015年度以前に全科履修生として入学された方で、2009～2015年度のカリキュラムが適用されている方は、カリキュラム移行手続きを行うと、「授業形態に係る要件」だけでなく、「科目区分に係る要件」も変更となりますので、ご注意ください。

【申請方法】

<システム WAKABA による申請>

システム WAKABA にログインし、教務情報→変更・異動手続→所属コース・カリキュラム移行→移行後の希望するカリキュラムを‘24 カリとし、所属コースを選ぶ（所属コースの変更を希望しない場合は現在のコースを選んでください）→確認→申請

<郵送による申請>

「学生生活の葉」巻末様式1「所属コース変更願兼カリキュラム移行届」の「2. カリキュラム移行」に○をつけ、「放送大学学務部学生課入学・履修係」まで提出ください。

※各学期の申請期間は「学生生活の葉」にてご確認ください。申請を行った翌学期より適用されます。

編集サークル「フォト倶楽部」より秋の写真を ご提供いただきましたのでご紹介いたします



水海の石仏群（池田町水海）



コスモス畑
（勝山市野向町）



コスモス畑（勝山市野向町）



山伏岩（大野市蕨生）

■ 第1学期面接授業レポート

5月11日(土)・12日(日)

『日本の古代道路5』 門井 直哉 先生

1日目は日本古代の道路事情について学び、2日目は福井県内の古代道路の痕跡を歩いて現地見学を行いました。



6月1日(土)・2日(日)

『初級Pythonプログラミング』

小高 知宏 先生



Python言語を使ってデータを整理や、統計計算を行う方法等をコンピュータ実習を交えて行いました。また、プログラミングを構成する練習問題も体験しました。



6月8日(土)・9日(日)

『住まいとまちづくり』 菊地 吉信 先生

人口の減少と高齢化が進む地方都市では空き家が増加しており、市街地のコンパクト化、空き家問題、既存建物の活用など住環境をどのように整えていくか、まちづくりグループワークを行いました。



UDフォントを知っていますか？

心理と教育コース全科生 乾 陽子

福井学習センターで2023年度まで開催されていた、石井パークマン麻子教授によるゼミ「特別支援教育と共生社会」（現在はサークル「特別支援教育と共生社会研究会」）で、私は共生社会とは何かを学び、自分に何ができるかを考えました。その実践の一つ、福井県庁「TeamUD」による「UDフォントの普及啓発活動」が、県庁クレドアワードで知事賞を受賞したことを報告します。

「UDフォント」は「ユニバーサルデザインフォント」の略で、多くの人に分かりやすく読みやすいように工夫されたフォントのことです。Microsoft windowsにはすでに「BIZ UDゴシック」などが入っていて、フォントを選ぶだけで使えます。こんな簡単なことで人の役に立てるのにやらない理由はない！と、私は2023年秋、障がい福祉課に席を置く放送大学のゼミ仲間などと一緒に、勤務先の福井県庁で「TeamUD」を立ち上げ、UDフォントの普及啓発活動を始めました。

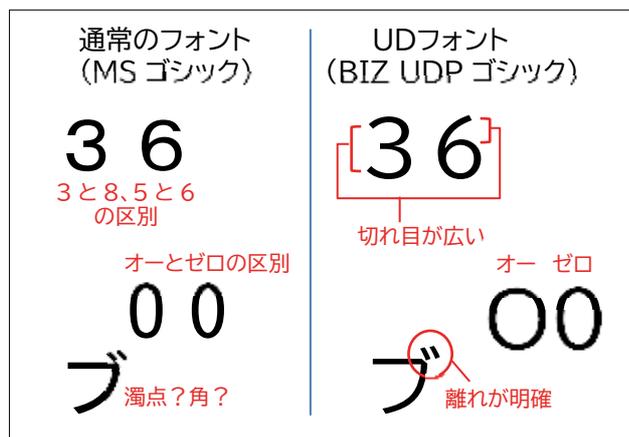


図1:フォント比較

まず、庁内向けに「UDだより」を4回発行しました。第1号は理解を深めるために「字が読みづらい方の見え方」と「UDフォントの特徴」、第2号は実践に向けた「パソコンの設定方法」と「フォントの選び方」、第3号ではエビデンスを引用した「活用効果」、第4号は「フォントだけではない伝え方の工夫」を掲載しました。この際、フォントメーカー(株)モリサワの開発担当者や特別支援学校の先生など、開発と活用双方の現場の実情を取材しました。

情報の発信を県庁外にも積極的に行ったところ、包装印刷メーカーから協力の申し出や、地元ラジオ局からの出演オファーに結び付けました。

庁内では、読字障害をはじめとした発達障害を考えるフィーカ（ざっくらばらんに話す会）を企画し、今までにない応募人数と言われる反響を得ました。

これらの成果をまとめて、県庁職員が自ら工夫して成果を出した新しい事業を表彰する「クレドアワード」に応募し、知事賞を受賞しました！そして2024年度が始まり見渡すと、新調する職員の名刺・名札などはUDフォントになり、文書もUDフォントが主流となっていました。



図2:クレドアワード表彰
(両端が石井パークマンゼミ生)

ゼミで考える共生社会は、障がいと言われるものが特性と捉えられるまで敷居を低くするものと私は考えていて、このUDフォントが、障がい者と呼ばれる方も高齢者と呼ばれる方も、その呼称ではなく特性に配慮することで同じ「伝わる」という感覚を満たすことができるという、ゼミの解の一つにでありたいと意識して活動しました。産官学（民間企業・県庁・放送大学）の連携により、築き上げ広がり始めたTeamUDの活動が、自ら考え対応できる合理的配慮のある社会の一端に協力できていれば嬉しいと思っています。

歴史的建造物等活用コンシェルジュサイトより

古建築を楽しむ vol.3 ～坂井市三国町「三国湊」～

心理と教育コース全科生 乾 陽子

行楽の秋になりました。そこで、夕日のきれいな東尋坊・サンセットビーチにほど近い三国湊地区をご紹介します。

えちぜん鉄道の終点『三国港駅』から三国駅・三国神社駅にかけて町家が連なる三国湊は、中世からの歴史ある湊町。特に江戸から明治の北前船交易では栄華を極めました。現在は越前がにやふくい甘えびなどが水揚げされる港となっていますが、今でも町なかには、北前船で財を成した豪商の邸宅や商家、往時の花街の艶やかさを伝える料理屋そして文学者の生家やゆかりの料亭など、立派なだけでなくいわれのある建物が多く残ります。



写真1:三国港駅と眼鏡橋(右奥)
(ともに国登録文化財)



写真2:料理茶屋 魚志楼

『料理茶屋 魚志楼』は明治時代に芸妓の置屋として建てられた町家。今は料理茶屋として、三国の海の幸と福井の地酒が楽しめます。

湊町の商人の生活を垣間見られるのが『旧岸名家』。建築様式はこの地域独特の「かぐら建て」で、切妻造妻入の主体部の前方に平入の表屋を付けた形となっています。当時の生活を語り部ボランティアさんが解説してくださるので、三国箆笥や水琴窟・仏壇など実物を目にしながらぜひお聞きください。



写真3:旧岸名家

三国の歴史は、倉庫をリノベーションした「マチノクラ」で紹介しています。隣の「三国湊座」はライブハウスとしても使われている建物で、名物の三国バーガー、甘えびを使ったクリームコロツケバーガーなどが食べられます。



写真4:マチノクラ、三国湊座

『森田銀行』は、福井県内初のRC造建築。大正レトロの洒落た大空間がギャラリーとしても人気です。時々行われるナイトバーのお洒落さは圧巻。ライトアップや格子から漏れる明かりで、昼とはまた違う雰囲気になる夜の表情も必見です。



写真5:旧森田銀行

北前船の栄華は歴史の中にとどまっていますが、近年は地元の方々のまちづくり活動により、若い世代も活躍し、古建築を活用した芸術祭の開催やお店・宿泊施設などが増え、世代を問わず散策を楽しめる町になってきています。5月20日は三国祭、8月11日は三国花火、そして11月6日は越前がに漁の解禁日！ 市場も魚屋も料亭も活気づく季節にぜひお立ち寄りください。

注)『』で囲った建物名は、国登録文化財です。

イベント情報
コンシェルジュ
歴活用



旧岸名家



料理茶屋
魚志楼



マチノクラ



森田銀行



新着図書が届きました



客員教員の木村先生ご推薦の本はこちら



学習にぜひご活用ください

【 利用案内 】



●利用時間 ※閉所日を除く

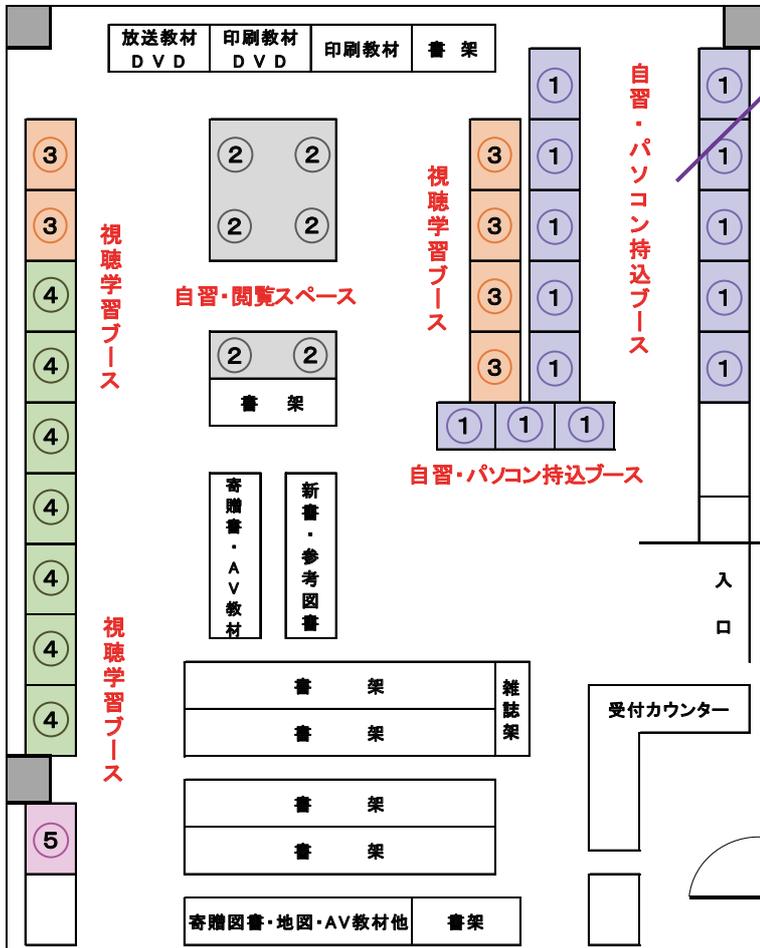
火曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日～日曜日 9:00～17:30 (図書の貸出・返却・視聴学習等は**利用時間終了 10 分前まで**にお願いします。)

●入室方法

必ず事務室窓口で「学生証」をお預けください。カバン等や飲食物の持ち込みは禁止のため、学生休憩室の「コインロッカー」を使用し、学習に必要なもののみ備付のビニールバックに入れて入室願います。また、飲食時は学生休憩室をご利用ください。※詳細は「利用の手引」(福井学習センター)「図書・視聴学習室の利用について」をご覧ください。

【 図書・視聴学習室 レイアウト 】



自習・パソコン持込ブース

コンセントがありますので、「無線 Wi-Fi の利用申請」をしている個人のパソコン、タブレットを持ち込み学習することもできます。



お気軽にご利用ください!

令和6年 10月～12月のスケジュール

10月							10月	
日	月	火	水	木	金	土	1日	放送授業開始(オンライン授業は4日から配信)
		1	2	3	4	5	5日	大学院・博士全科生第1次選考
							5日	大学院・修士全科生第1次選考
							14日	第2学期面接授業 追加科目登録 空席発表(15時～)
							14日～	第2学期面接授業 追加科目登録 事前受付開始
6	7	8	9	10	11	12	【面接授業】	
13	14	15	16	17	18	19	12・13日 「歌曲の魅力を探る」「医療・看護英語にチャレンジ」	
20	21	22	23	24	25	26	19・20日 「人生が愉しくなる落語学9」	
27	28	29	30	31			26・27日 「心理学実験I」「福井の産業科学遺産に学ぶ」	
11月							11月	
日	月	火	水	木	金	土	1日	卒業研究報告書提出期限
					1	2	9日	大学院・博士全科生第2次選考
							16・17日	大学院・修士全科生第2次選考
							28日	通信指導提出期限
3	4	5	6	7	8	9	【面接授業】	
10	11	12	13	14	15	16	9・10日 「デザイン思考で新規事業を考える」 「共存するための社会のあり方」	
17	18	19	20	21	22	23	16・17日 「海軍志願兵と地域社会」 「インクルーシブ教育と共生社会I」	
24	25	26	27	28	29	30	30日 「健やかな長寿への知識と実践」「国際保健」	
12月							12月	
日	月	火	水	木	金	土	18日	修士論文提出期限
							29日～	年末年始 閉所(1/6まで)
1	2	3	4	5	6	7	【面接授業】	
8	9	10	11	12	13	14	1日 「健やかな長寿への知識と実践」「国際保健」	
15	16	17	18	19	20	21	7・8日 「心理検査法基礎実習」	
22	23	24	25	26	27	28	14・15日 「EXCELプログラミング入門」	
29	30	31					21・22日 「ホームページ作成入門」	

■ 閉所日 □ 面接授業

機関誌「楽学喜」の配送は
4月号・10月号のみとなります

福井学習センターでは、年4回機関誌「楽学喜」を発行し、所属の全学生へ配送していましたが、授業や試験もデジタル化が普及している状況を踏まえ、福井学習センターでも省資源化及び経費縮減を推進していくため、第101号(2025年1月発行)より、一部配布方法を変更させていただきます。

1月号・7月号は冊子の配送を中止し、福井学習センターのWebサイトでの掲載のみとさせていただきます。入学後のお知らせが多い4月号・10月号は従来通り冊子の配送・Webサイトでの掲載を行います。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1月号・7月号の冊子の配送をご希望の方は、「放送大学福井学習センター」までご連絡ください。(福井学習センターの公式LINEでも発行時にお知らせしています。)

2025年度第1学期
入学生を募集しています!

- 第1回出願期間
2024年11月26日(火)～
2025年2月28日(金)
- 第2回出願期間
2025年3月1日(土)～
2025年3月11日(火)

★ご家族やご友人等、放送大学に興味を持たれている方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。
★個別相談も随時行っていますので、お気軽にお電話ください。

放送大学 福井学習センター

〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 AOSSA7F
TEL: 0776-22-6361 FAX: 0776-22-6431
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui>



利用時間(月曜・祝日は閉所)
(火～金) 9:30～18:00
(土・日) 9:00～17:30

